



PRADiA  
PROCEED RADIANT

# PRADiAcoin

**Crypto currency as innovation in the engineer resource system.**

Ver.0.9

© 2018 PRADiA

# PRADiAcoin White Paper

## 目次

<b>PRADiAcoin</b> .....	1
1. 概要(ABSTRACT).....	3
2. 背景(BACKGROUND).....	4
3. 課題と解決策(PROBLEMS and SOLUTIONS).....	5
4. プロダクトと発行トークン(PRODUCT and TOKEN) .....	6
5. ブロックチェーンとその活用方法(the BLOCKCHAIN and the MERITS) .....	7
6. ロードマップ(ROADMAP).....	8
7. 重要事項(SIGNIFICANT ISSUES).....	9
概要 .....	9
PRADiAcoin 購入者の要件 .....	9
リスク .....	9
免責等 .....	10
内容について変更・追加・削除 .....	10
購入者の表明保証 .....	10

## 1. 概要(ABSTRACT)

PRADiAcoin は、高度な技術力を保有する IT 技術者不足(質・量)の深刻な問題を抱える中、エンジニアが保有するスキルや経歴、実績をブロックチェーンで管理することで、企業、地域、国など組織や機関が保有する IT ケイパビリティを可視化し、高度な技術力を持つ人材の輩出と、組織・機関の技術力を高めるに役立てる。また働き方改革により多様な働き方が実現していく中で、より専門性の高いエンジニアの輩出と、豊かなエンジニアライフを支えること目的としたトークンである。また、ブロックチェーンの公平性、透明性の特徴を活かして、スキルを第三者により証明する目的も有する。

## 2. 背景(BACKGROUND)

AI やビッグデータ解析、IoT など第 4 次産業革命を牽引するデジタルトランスフォーメーションが期待される中、高度な技術力を保有する IT エンジニアへの需要はますます高まってくるが、日本をはじめとし、IT エンジニアリングリソースの枯渇問題は長年解消されずにいる。

特に日本の情報処理産業は、長年 IT ゼネコンと呼ばれる多重下請け構造をとってきたため、専門性の高い技術者が育ちにくい環境下にあった。また業界全体的には、世の中で起きている新技術の動きに敏感ではありながらも、特に変化のスピードの速い新技術への対応の遅れが目立っている。

日本の IT 市場の主流であるシステムエンジニアリングサービス (SES) というビジネスモデルをとっており、技術者の保有能力を期間で契約するという労働集約モデルである。

主には受注元大企業が、下請け企業よりエンジニアを調達する形をとっている。

依ってプロジェクトは主に中小企業のシステムエンジニアやフリーランスのエンジニアで構成されるケースが多い。

但し、IT エンジニアのスキルを証明するものはなく、技術者側の自己申告となってしまう。

技術要素は、変化のスピードが速く、保有資格などでは言語や環境の経験年数での定量的な査定になることが多い。

現実的には、プロジェクトからの期待値と技術者の実績とのギャップにより、増員によるコスト増やスケジュール遅延など、生産性低下がプロジェクト失敗要因となっていることが考えられる。

またITプロジェクトの多くの失敗や低生産性が、日本のホワイトカラーの生産性の問題にも大きな影響を与えていることが考えられる。

IT エンジニアのスキルや経験値をブロックチェーンで管理することで、可視化でき、また発注側と直接結ぶプラットフォームを提供することで仲介料を排除し、価格適正化、コスト削減につながる。

### 3. 課題と解決策(PROBLEMS and SOLUTIONS)

各分野でのデジタルトランスフォーメーションが加速する今、高度な技術力を持ち、環境変化に合わせて変革する能力を持つ優秀な人材がますます必要となってきた。組織は、現状保持している技術力を把握や分類する手段としては、通常、企業などではタレントマネジメントシステムの導入などが考えられるが、国や地域、企業など組織をまたがって把握することは非常に困難となっている。

エンジニアが現在どのような技術を使って研究や開発をしているのか、コアコンピテンシーは何かなどの技術力が可視化され、国や地域などの跨った組織においても状況を把握することが出来れば、目まぐるしく変化していく技術領域に対しても、戦略的に専門性の高い技術者の輩出や組織のケイパビリティ構築していくことが可能となる。

優秀なエンジニアは技術的な向上心が高いため、個人の時間は自分の興味のある分野の研究や開発を行い、その成果を仕事に還元するというスタンスを好むが、変化スピードが早く複雑化している IT 技術スキルを証明する手段は乏しく、エンジニアの能力を正しく把握することが難しいのが現状である。

また日本においてはシステムインテグレーターがシステム開発を受注し、下請企業が製造を担当するような構造により長年、労働集約型モデルが採用されてきた。しかし、多くのプロジェクトでは、役割や期待値とエンジニアの能力のギャップから、コスト超過やスケジュール遅延が発生しプロジェクトの失敗や生産性低下にも大きく影響することも少なくない。これは、エンジニアが応募の際に提出する自己申告制でのスキルシート、職務経歴書や面談という手段では仲介企業や採用側がそれを適切に評価できてないことも大きな原因となる。

本プロジェクトでは、IT エンジニアのスキル、経験、功績をブロックチェーンに記録し、スキルを分析、判定するスコアリング機能を実装、第三者によりスキルを証明する分散型スキル証明プラットフォーム(Decentralization Skill Certificate Chain)と、エンジニアと企業や機関などの組織を繋ぐプラットフォーム (High Grade Engineers Hub)を提供する。企業や機関や組織は、これらプラットフォームを利用することで、エージェント企業などの仲介手数料を排除し、エンジニアリングリソースを効果的に活用することが出来るようになる。

## 4. プロダクトと発行トークン(PRODUCT and TOKEN)

PRADiAcoin は、ハイレベルな IT エンジニアリングリソースの継続的な供給と充実した IT エンジニアライフの実現に取り組むためのトークンである。

プロダクトは、自立分散型スキル証明プラットフォーム(Decentralization Skill Certificate Chain)と、エンジニアと企業や機関などの組織を繋ぐプラットフォーム (High Grade Engineers Hub)の 2 つからなる。これら 2 つを組み合わせたシステムを Agency-PRADiA システム呼ぶ。

エンジニアは、日々の研究や開発などの貢献でインセンティブとして、PRADiAcoin が得られる。

PRADiAcoin を持つことで、下記のようなメリットがある。

1. 取引所上場後は、他の暗号通貨や法定通貨への交換が可能となる
2. 専用のネットショッピングモールで日用品や書籍、情報コンテンツの購入資金に使用できる。
3. エンジニア教育機関や総合施設の利用、チャリティへの参加

トークンの発行上限枚数は、3,000,000,000 枚とする。内訳は、開発費 20%、運営費 10%、初期流通 25%、未流通 25%、プロジェクトメンバーのインセンティブ 20%として配分する。開発費にはトークンおよびトークンを使用したサービスの設計や開発など、運営費にはサーバー費や雑費など運営にまつわる各種費用、初期流通にはプロモーションによる配布分および取引所を介しての流通分などが含まれる。未流通分 25%は今後サービスを通じてサービスの利用者に向けて配布していく予定である。

トークン名	PRADiAcoin
トークン規格	ERC20
シンボル	PRD
桁数	18
アドレス	0x33bcb54c970bb963b5fb2f51b6d78575eae7ac97



## 5. ブロックチェーンとその活用方法(the BLOCKCHAIN and the MERITS)

ブロックチェーンとは、ブロックと呼ばれるデータ単位を、チェーンの様に連鎖させていくことでデータを保存していくデータベースである。ブロックには取引情報や契約情報などを記載することができる。またブロックチェーンはユーザ同士で分散して管理されるため、中央集権化を防げるという特性と、データの改ざんが事実上不可能であるという特性がある。

Agency-PRADiA にブロックチェーンを活用する理由は以下のとおりである。

エンジニアが現在どのような技術を使って研究や開発をしているのか、コアコンピテンシーは何かなどの技術力が可視化され、国や地域などの跨った組織においても状況技術者のスキルや職歴内容は自己申告でありその情報の不確かさが、実際の能力とのギャップの原因ともなっている。この状況に対してブロックチェーンを用いた分散型スキル証明プラットフォームは以下の点において優れている。

- エンジニアの技術スキルをエージェント・企業同士が承認し合う分散型の構造になる
- 国や機関を跨った記載されるスキルや職務経歴の内容の信憑性が上がり虚偽の記載や改ざんがなくなる

## 6. ロードマップ(ROADMAP)

以下に、現在計画しているロードマップを示す。

今後のロードマップ

<分散型スキル証明プラットフォームの開発>

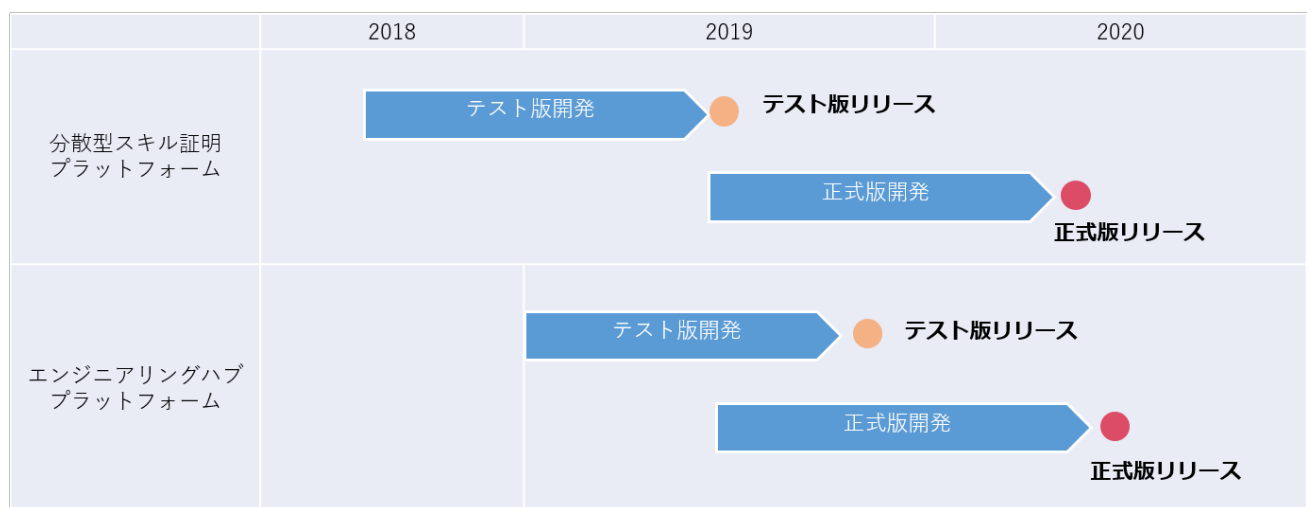
2019 年夏 テスト版リリース予定

2020 年春 正式版リリース予定

<エンジニアリングハブプラットフォームの開発>

2019 年秋 テスト版リリース予定

2020 年春 正式版リリース予定





## 7. 重要事項(SIGNIFICANT ISSUES)

### 概要

PRADiA 株式会社は、暗号トークンを活用したサービスを開発・提供することを目的として、取引所を通じて PRADiAcoin を販売いたします。PRADiAcoin は、いかなる国又は地域においても有価証券として取り扱われることを想定しておりません。また、このホワイトペーパーは、いかなる国又は地域においても、投資の勧誘にあらず、いかなる方法によっても有価証券の募集にあたるものではありません。PRADiAcoin の購入を検討されている個人や、企業ないし組織等の皆さまは、PRADiAcoin 購入に関するリスク、コスト、デメリット又はベネフィット等を十分にご検討いただき、必要に応じて、自己の責任において、これらの点について専門家のアドバイスを受けてください。また、このホワイトペーパーに記載された PRADiAcoin の購入に関するリスク及びその他のリスクを許容できない場合、又は理解できない場合は、PRADiAcoin の購入を控えてください。また、一旦 PRADiAcoin を購入すると、購入した PRADiAcoin の対価は返還できませんので、その点にご注意ください。

### PRADiAcoin 購入者の要件

PRADiAcoin 又は類似する暗号トークンの購入が禁止されている又は法令に違反すると見なされる国の国籍保有者、又は州の居住者は、PRADiAcoin を購入することができません。PRADiAcoin の購入においては、暗号トークンの利用法やその複雑な性質、及びブロックチェーン技術に基づいたソフトウェアシステム等について、十分な経験及び理解を有している方のみが、PRADiAcoin を購入することができます。当該 PRADiA 株式会社並びにトークン発行にかかわる者等は、PRADiAcoin の購入における購入者の行為等によって発生した、PRADiAcoin、他の暗号通貨トークン、仮想通貨又は法定通貨に関するいかなる損失についても責任を負いません。これらの分野について十分な必要経験や知識を有していない方は、PRADiAcoin の購入をご遠慮ください。

### リスク

PRADiAcoin の購入にはリスクが伴います。PRADiAcoin の購入希望者は、購入前に以下にあげるリスクを十分に検討し、各種専門家に相談するなど、自己の責任において PRADiAcoin の購入を行うか否か、決定してください。

#### プロジェクト開発に関するリスク

Agency-PRADiA システムは開発途中のプログラムであり、開発に失敗する可能性や、開発が完了したものの精度が期待に届かない可能性がございます。

#### 倒産リスク

PRADiA 株式会社は、他の暗号トークン発行体と同様、将来的な経営悪化によって倒産に陥ったり、清算する可能性があります。PRADiAcoin は、株式その他有価証券ではなく、倒産・清算等した場合、PRADiAcoin の保有者について残余財産の分配はありません。

#### サービス継続に関するリスク

清算等をした場合、PRADiAcoin によって利用できるサービスの提供に係る事業が第 3 者に売却される可能性があります。その場合、発行済みの PRADiAcoin によって、当サービスが利用できなくなるリスクがあります。

## バグ等のリスク

PRADiAcoin には、バグが発生する可能性があります。本トークンは将来的なバグ発見を想定し、いかなる場合においても対処するよう努力しますが、将来的なハッキング等により、PRADiAcoin の適切な取り扱いが困難となる場合があります。その場合、PRADiA 株式会社の判断により、ハードフォークを行う可能性があります。

## 免責等

PRADiA 株式会社並びに開発チーム等は、皆さまがホワイトペーパーの記載を信頼したことに起因して又はそれに関連して被ったいかなる間接損害、特別損害、付随的損害、結果的損害その他の損害について責任を負いません。(不法行為責任、契約責任その他法的性質を問いません。)

PRADiA 株式会社は、開発途中の Agency-PRADiA システムが完成することについていかなる保証もせず、PRADiAcoin の購入者はこの点を認識しています。PRADiAcoin 購入者は、PRADiA 株式会社が Agency-PRADiA システムが完成せず、利用に供されないことによって生じる損失、損害についていかなる責任を負わないことを認識しています。また、Agency-PRADiA システムが完成した場合、これが他のサービスよりも優れていることを保証するものではありません。他のサービスと同様に、取引の参考となる情報の一つとしてご確認ください。

世界各国において、規制当局が暗号トークンに関連したビジネスを注意深く監視しています。PRADiAcoin 購入者は、いかなる国又は地方の法令等に基づいて、Agency-PRADiA システムが変更される可能性があること、かかる変更によって生じた損失・損害についても PRADiA 株式会社は責任を負わないことを認識しています。

PRADiA 株式会社は、このホワイトペーパーに記載されたサービス全ての実現性を表明保証するものではなく、いかなる者に対しても、いかなる表明保証及び免責を与えるものではありません。

## 内容について変更・追加・削除

PRADiA 株式会社は、このホワイトペーパーの一部及び条件を PRADiA 株式会社の裁量により、変更、改訂、追加又は削除することができます。購入者は、PRADiAcoin を購入することにより、かかる変更等を許容しております。このホワイトペーパーのいずれかの部分や条件について異議がある場合は、PRADiAcoin の購入は控えてください。

## 購入者の表明保証

PRADiAcoin を購入することにより、購入者は以下の点を表明保証します。

1. 購入者が、居住する国又は地域の法令に基づいて、PRADiAcoin を購入する完全な能力を有していること
2. 購入者が、PRADiAcoin の購入が自身にとって適切なものであると判断することについて責任を負うこと
3. 購入者は、PRADiAcoin の購入を希望する他者の代理人ではないこと
4. 購入者が、PRADiAcoin の購入に係るリスク、コスト、その他のデメリット等を十分に検討し、それらを理解していること
5. 購入者が、PRADiAcoin の購入に関して投機的な目的で行動していないこと

6. 購入者が、あらゆる国又は地域において、いかなる形態によっても PRADiAcoin は有価証券に当たらないことを同意・理解していること
7. 購入者が、このホワイトペーパーはいかなる種類の目論見又は募集書類にも当たらず、購入者の居住する国又は地域において有価証券の募集に当たるものではなく、有価証券に係る投資の勧誘に当たらないことを同意・理解していること
8. 購入者が、仮想通貨の運用、機能、利用法、貯蓄、移転のメカニズム及び他の重要な特徴、ブロックチェーンに基づいたソフトウェアシステム、仮想通貨ウォレット又は他のトークン貯蓄メカニズム、ブロックチェーン技術について十分な理解を有していること
9. 購入者が、PRADiAcoin の購入にあたって、PRADiA 株式会社の事業・運営に関連するリスクを十分に認識・理解していること
10. 購入者がこのホワイトペーパーの記載を信頼したことに起因して又はそれに関連して被ったいかなる間接損害、特別損害、付随的損害、結果的損害その他の損害について PRADiA 株式会社は責任を負わない(不法行為責任。契約責任その他法的性質を問わない)ことを十分に同意・理解していること
11. 上記 1 ないし 10 の全ての表明保証が、購入者がホワイトペーパー記載の情報に接したときから、真実、完結及び正確であり、誤解を招くものではないこと

以上